

駒場苑のケア方針 7つのゼロへの挑戦

7つのゼロは、最期まで気持ち良く、主体的で、その人らしい生活を過ごして頂くための明確なケアの方向性を示したものであり、不適切なケアにならないためのチェックツールです。ゼロにする事が目的ではないため、あくまでのその方の状態に合わせた無理のないかたちでこれらの事を支援していきます。

寝かせきりゼロ を目指します！

昼も夜もベッドに寝かせきり…そんな生活は駒場苑にはありません。日中は食事排泄入浴等を離床のきっかけに、好きなようにお過ごし頂けます。

おむつゼロ を目指します！

オムツやリハビリパンツの中に排泄…ではなく、できるかぎりトイレですっきり排泄していただきます。綿パンツか、パットだけで通気性良く、快適に過ごせる排泄ケアを行います。

機械浴ゼロ を目指します！

ひのきの家庭浴槽で、ご自分の力を活かし、温泉気分でお好きな温度と浸かっていたい時間を大事にする気持ちの良い入浴ケアを行います。

誤嚥性肺炎ゼロ を目指します！

食事はウトウト寝ながら食べないように、覚醒された時に、座って良い姿勢で食事ができるように。食事介助は必ず座って行ない、小スプーンでその方のペースに合わせてゆっくりと。食後の歯磨きもしっかり…誤嚥性肺炎を起こさない食事ケアを行います。

脱水ゼロ を目指します！

好きな飲み物、食べ物を楽しむ事を大切に考え、最低限1日800cc以上の水分摂取を目指し、無理なく水分不足での脱水を起こさぬように努めます。

拘束ゼロ を目指します！

生活には事故のリスクはつきものですが、それを防ぐためにベルトで縛ったり、過剰な精神薬を服用したり、「〇〇してはダメ」と言葉で縛ったり、不適切な言葉かけで傷つけたり…そんな拘束はその方の生活も尊厳も奪います。駒場苑では拘束は行いません。

下剤ゼロ を目指します！

下剤はなるべく使用せず、適切なトイレ誘導、水分の工夫や便通を促す飲食物で自然なかたちの快適な排便を促します。